

所属・資格 総合文化研究室・准教授

申請者氏名 毒島 雄二

研究課題		文理学部教育用システムにおけるクラウドサービスの導入に関する調査及び研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	<p>現在様々な組織において、クラウドサービスの導入と活用が行われているが、その運用をめぐっては、既定の設定を採用することによって問題となりうることが指摘されている。本調査及び研究においては、日本大学文理学部の教育用システムにおいて2017年度より本格的な運用を開始したマイクロソフト社の提供するクラウドサービスであるOffice365に関して、運用開始後、提起された課題の整理とそれらに対する対応について、調査及び検証を行い、ICT教育を効果的に行うためのツールとなりえるのかについて研究を行うものとする。</p> <p>特に、メールサービスとしての「Outlook」およびクラウドストレージとしての「Onedrive」を基本として運用を開始したが、そのほかのサービス、例えば、「Group」、「Video (Stream)」、「Team」などについては、効果的に利・活用できる可能性はあるものの、誤った設定や使用方法によっては、重大な阻害要因となる可能性があるため、慎重な検討を行うものとする。</p>
	研究の結果	<p>Office365に関して運用開始後提起された課題としてGroupに関するものがある。Groupは様々なコンテンツを共有し、共同編集を可能にするなど活用法次第では有効なものであるが、グループ作成時の既定の設定としてパブリック（全ユーザへの公開）となっていたことがあり、不正利用の温床になりかねない問題があった。これらについてはグループ作成に関する制限と規定値をプライベート（特定のユーザのみに公開）とすることで対応した。</p> <p>さらに動画配信システムであるMicrosoft Streamについて、既存の商用あるいは無料動画配信システムと比較し、学生（ユーザ）と教員（管理者）の視点で検証を実施した。</p> <p>検証の結果、ユーザ視点からはPCやスマートフォンなどマルチプラットフォームにおいて動画視聴が快適に行えることが確認できた。管理者視点では、最上位の管理者権限があれば、90日以内の動画の作成や表示など様々な監査ログを取得できることは確認できた。</p> <p>しかしながら、教育効果の判断材料とするためには監査ログ取得は授業担当者である個々の教員が実施できる必要があるが、現状においては困難であった。</p>
	研究の考察・反省	<p>Groupについては、現在利用を制限している状態であるが、上述のようにメリットもあるため、教員もしくはその責任の下での学生ユーザによる作成を認めることとし、公開設定については十分な配慮の後に設定することを検討している。</p> <p>またStreamについては、ユーザ視点からは快適な動画の視聴が可能であることから既存の動画配信サービスに代わりうるものであり、授業ごとの監査ログ取得を行うスクリプトの作成と検証を引き続き行うこととした。</p>
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所	※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。	
研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p>公益社団法人 私立大学情報教育協会 平成30年度ICT利用による教育改善研究発表会 「LMSの活用による初年次コンピュータ・情報リテラシー教育の改善」 平成30年8月9日 / 東京理科大学 森戸記念館</p>	